

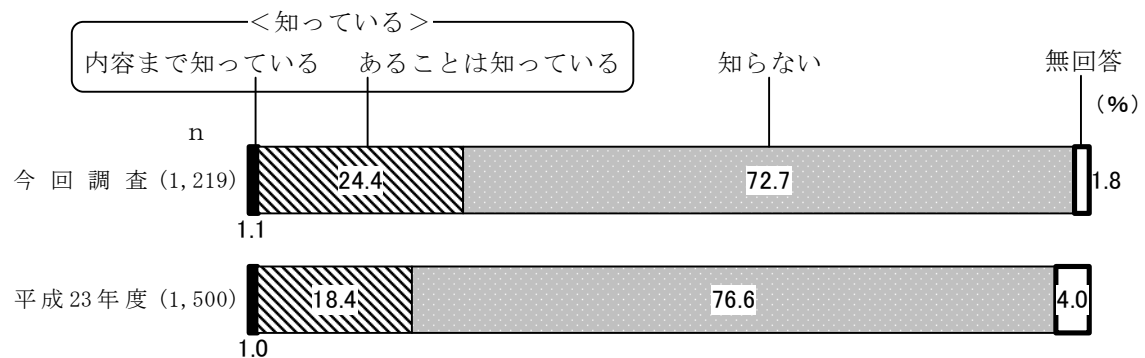
3 区民会議について

3-1 区民会議の認知状況

◎＜知っている＞が25.5%

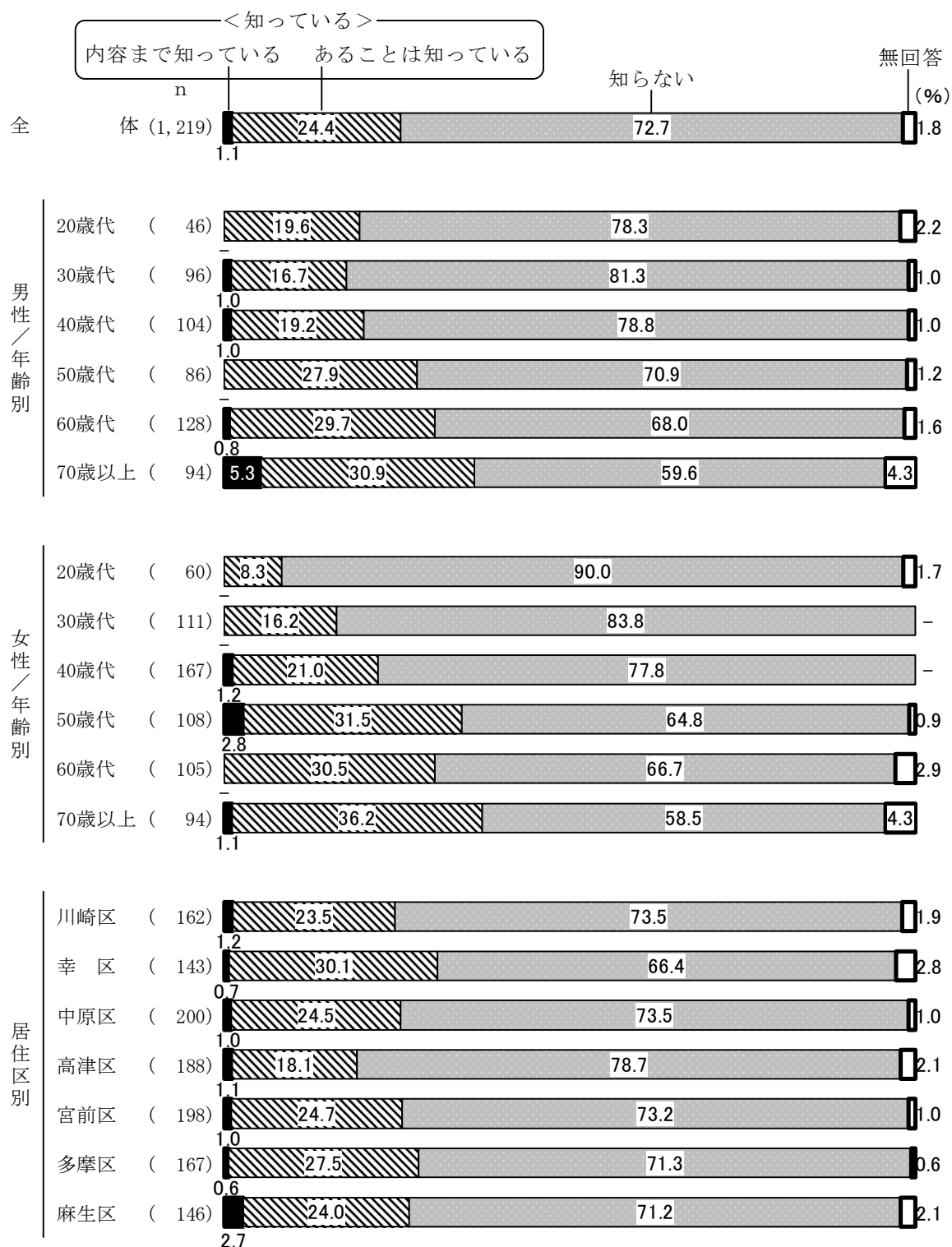
問16 あなたは、お住まいの区の区民会議について知っていますか。(○は1つだけ)

図表3-1 区民会議の認知状況



区民会議の認知状況は、「内容まで知っている」(1.1%)と「あることは知っている」(24.4%)を合わせた＜知っている＞が25.5%となっています。一方「知らない」は72.7%となっています。平成23年度調査と比較すると、＜知っている＞は6.1ポイント増加しています。

図表3-2 区民会議の認知状況（性／年齢別・居住区別）



性／年齢別では、＜知っている＞は、男女ともに70歳以上（男性：36.2%、女性：37.3%）で多くなっています。一方「知らない」は、女性の20歳代（90.0%）で多くなっています。

居住区別では、＜知っている＞は、幸区（30.8%）で多くなっています。

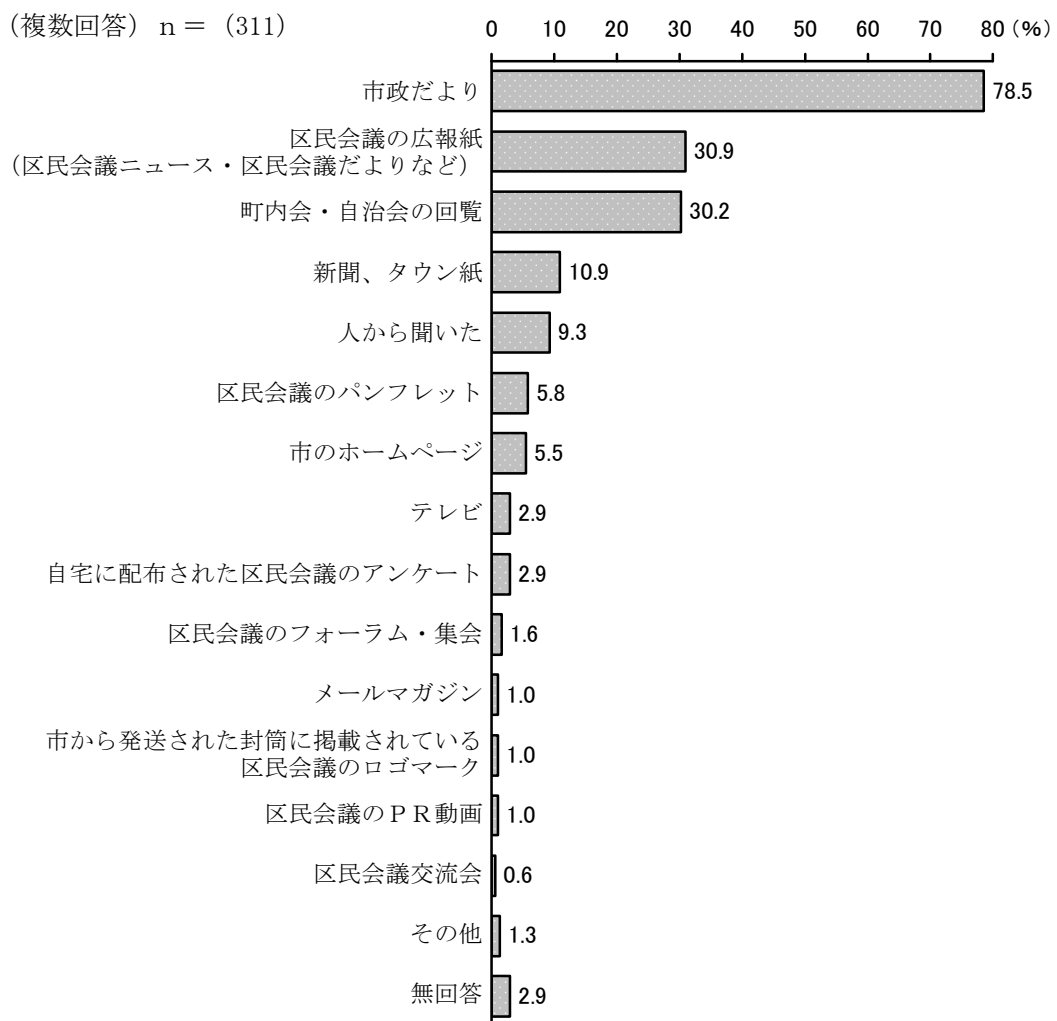
3-2 区民会議の認知媒体

◎「市政だより」が78.5%

「問16で、『内容まで知っている』または『あることは知っている』と回答した方にうかがいます。」

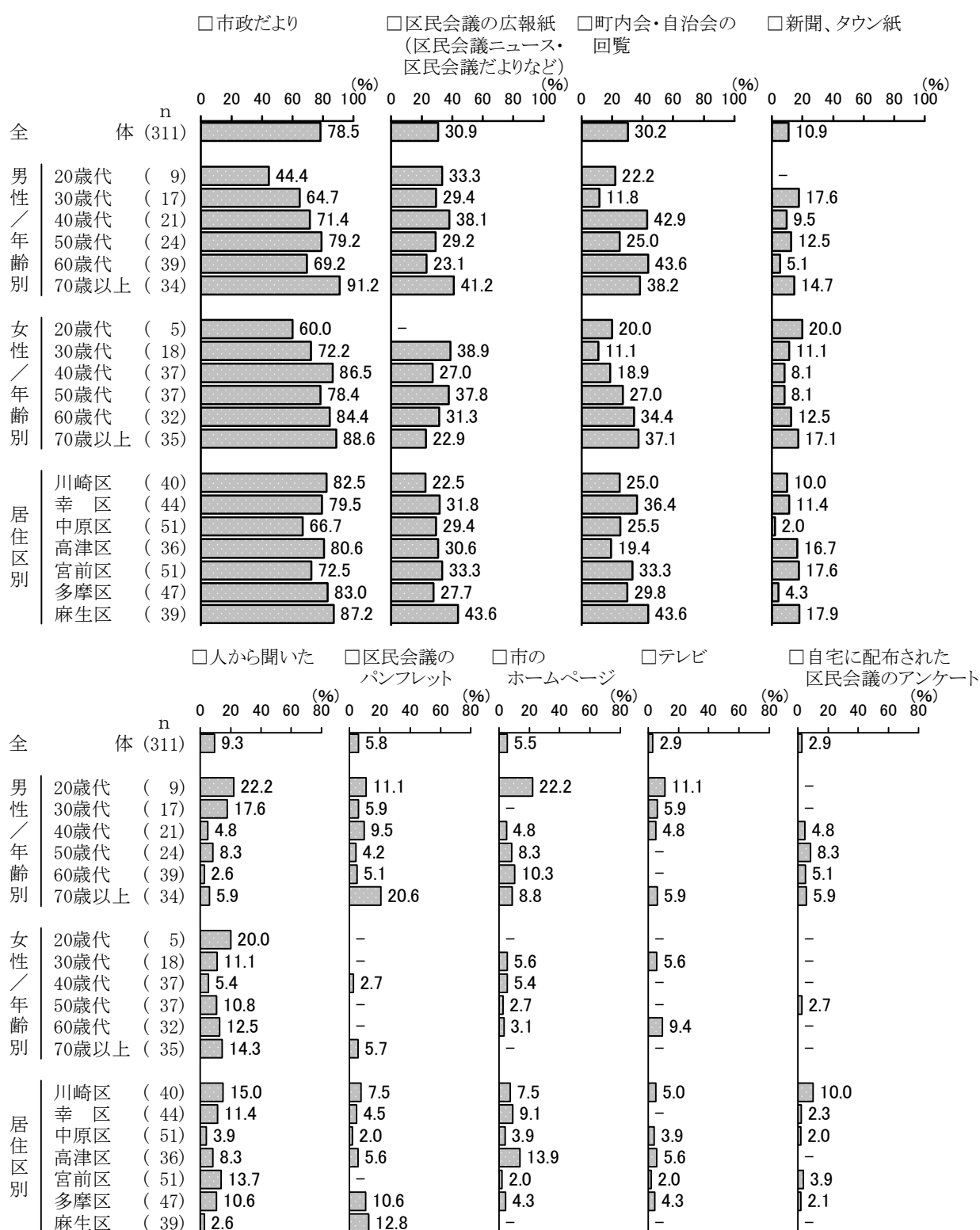
問16-1 あなたは、区民会議をどのようにして知りましたか。(あてはまるもの全てに○)

図表3-3 区民会議の認知媒体



区民会議の認知媒体は、「市政だより」(78.5%)が最も多く、次いで「区民会議の広報紙(区民会議ニュース・区民会議だよりなど)」(30.9%)、「町内会・自治会の回覧」(30.2%)、「新聞、タウン紙」(10.9%)、「人から聞いた」(9.3%)の順となっています。

図表3-4 区民会議の認知媒体（性／年齢別・居住区別、上位8項目）



性／年齢別では、「市政だより」は、男性の70歳以上（91.2%）で多くなっています。「区民会議の広報紙（区民会議ニュース・区民会議だよりなど）」は、男性の70歳以上（41.2%）で多く、「町内会・自治会の回覧」は、男性の60歳代（43.6%）で多くなっています。

居住区別では、「市政だより」は、麻生区（87.2%）で多くなっています。「区民会議の広報紙（区民会議ニュース・区民会議だよりなど）」は、麻生区（43.6%）で多く、「町内会・自治会の回覧」も麻生区（43.6%）で多くなっています。

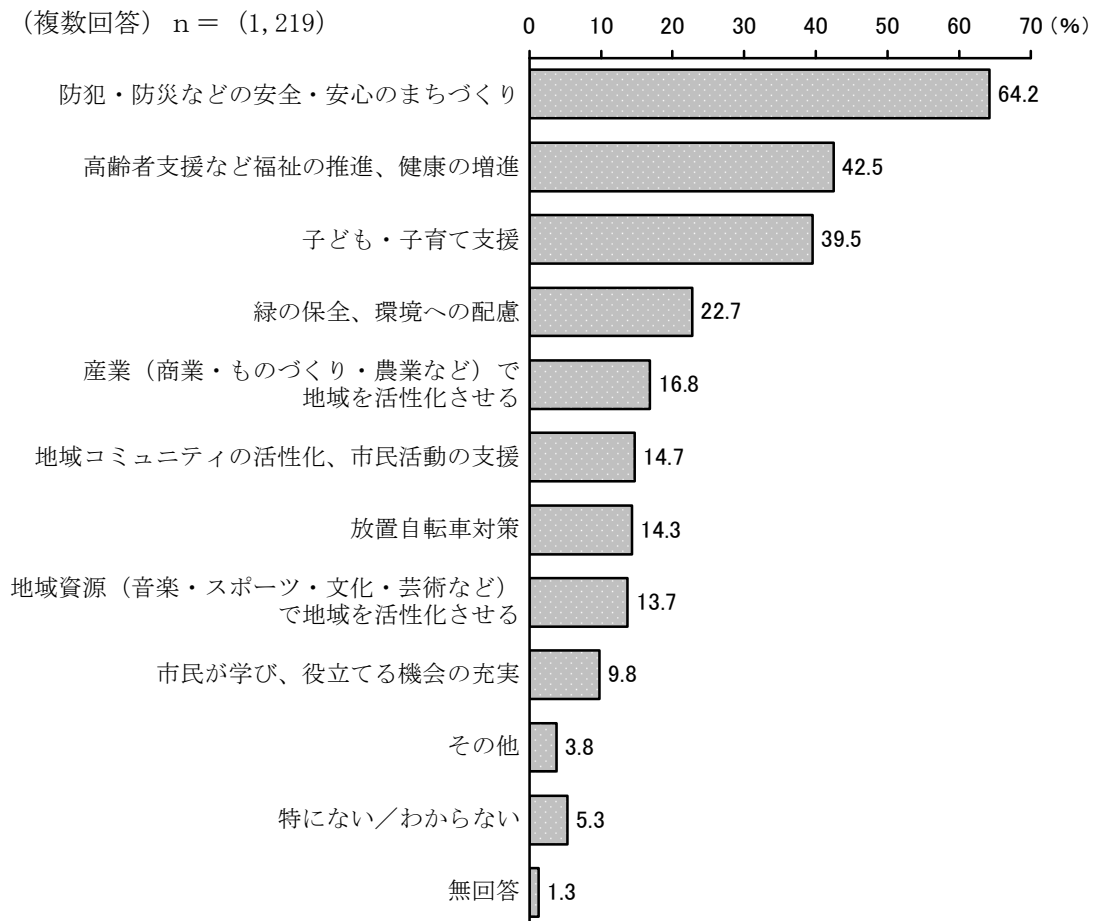
3-3 区民会議で取り上げてほしい地域の課題

◎「防犯・防災などの安全・安心のまちづくり」が64.2%

問17 あなたは、区民会議でどのような地域の課題を取り上げてほしいですか。

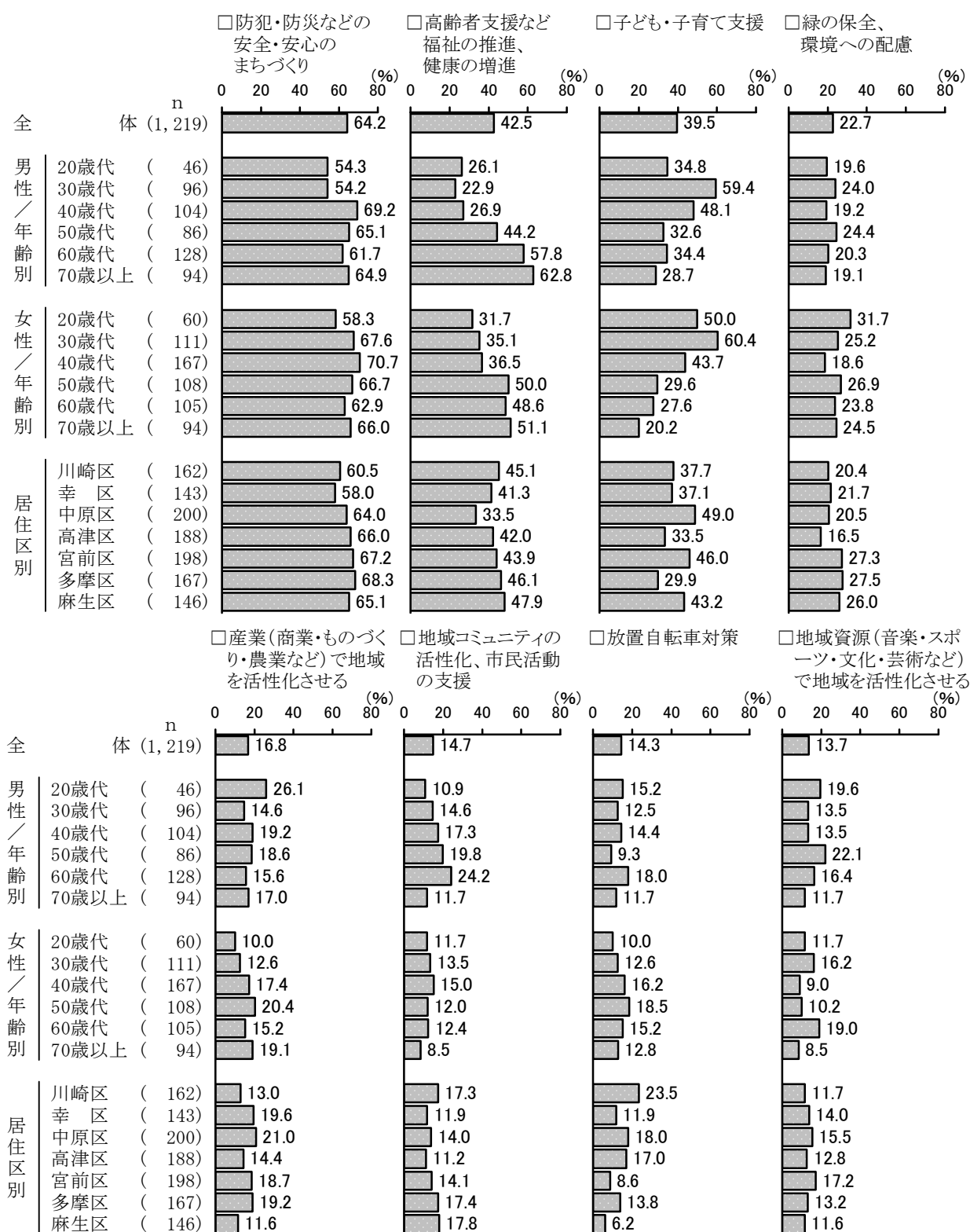
(あてはまるもの3つまでに○)

図表3-5 区民会議で取り上げてほしい地域の課題



区民会議で取り上げてほしい地域の課題は、「防犯・防災などの安全・安心のまちづくり」(64.2%)が最も多く、次いで「高齢者支援など福祉の推進、健康の増進」(42.5%)、「子ども・子育て支援」(39.5%)、「緑の保全、環境への配慮」(22.7%)、「産業（商業・ものづくり・農業など）で地域を活性化させる」(16.8%)の順となっています。

図表3-6 区民会議で取り上げてほしい地域の課題（性／年齢別・居住区別、上位8項目）



性／年齢別では、「高齢者支援など福祉の推進、健康の増進」は、男性の70歳以上（62.8%）で多くなっています。「子ども・子育て支援」は、男女ともに30歳代（男性：59.4%、女性：60.4%）で多くなっています。

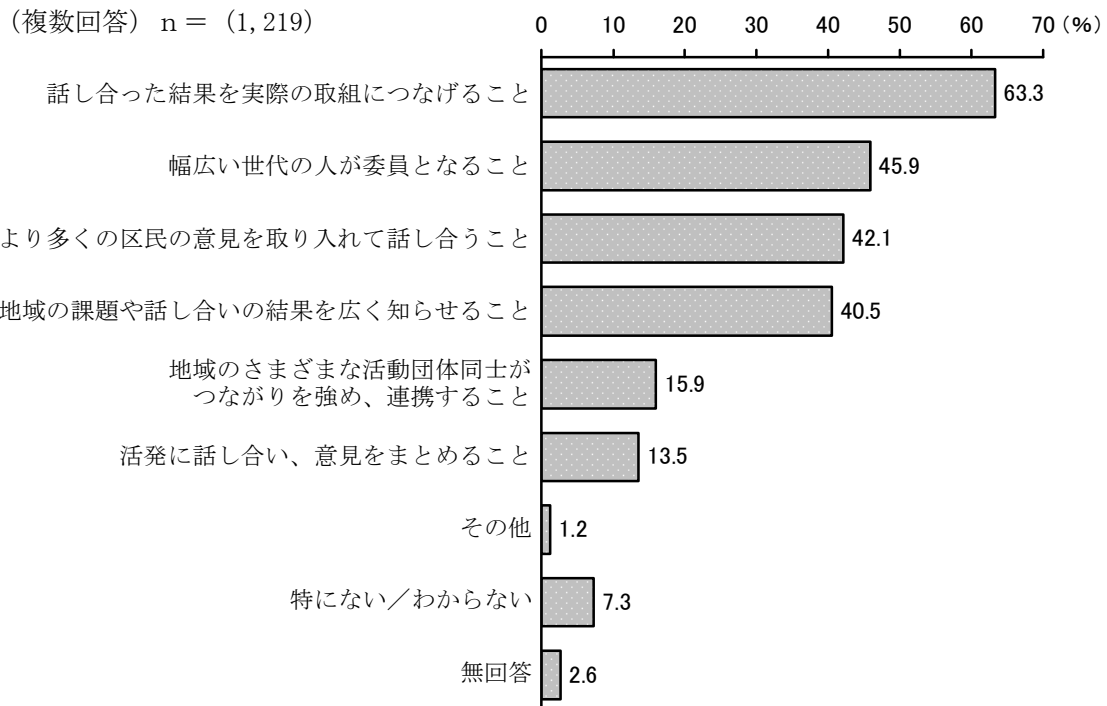
居住区別では、「子ども・子育て支援」は、中原区（49.0%）、宮前区（46.0%）の順で多くなっています。

3-4 区民会議に期待していること

◎「話し合った結果を実際の実組につなげること」が63.3%

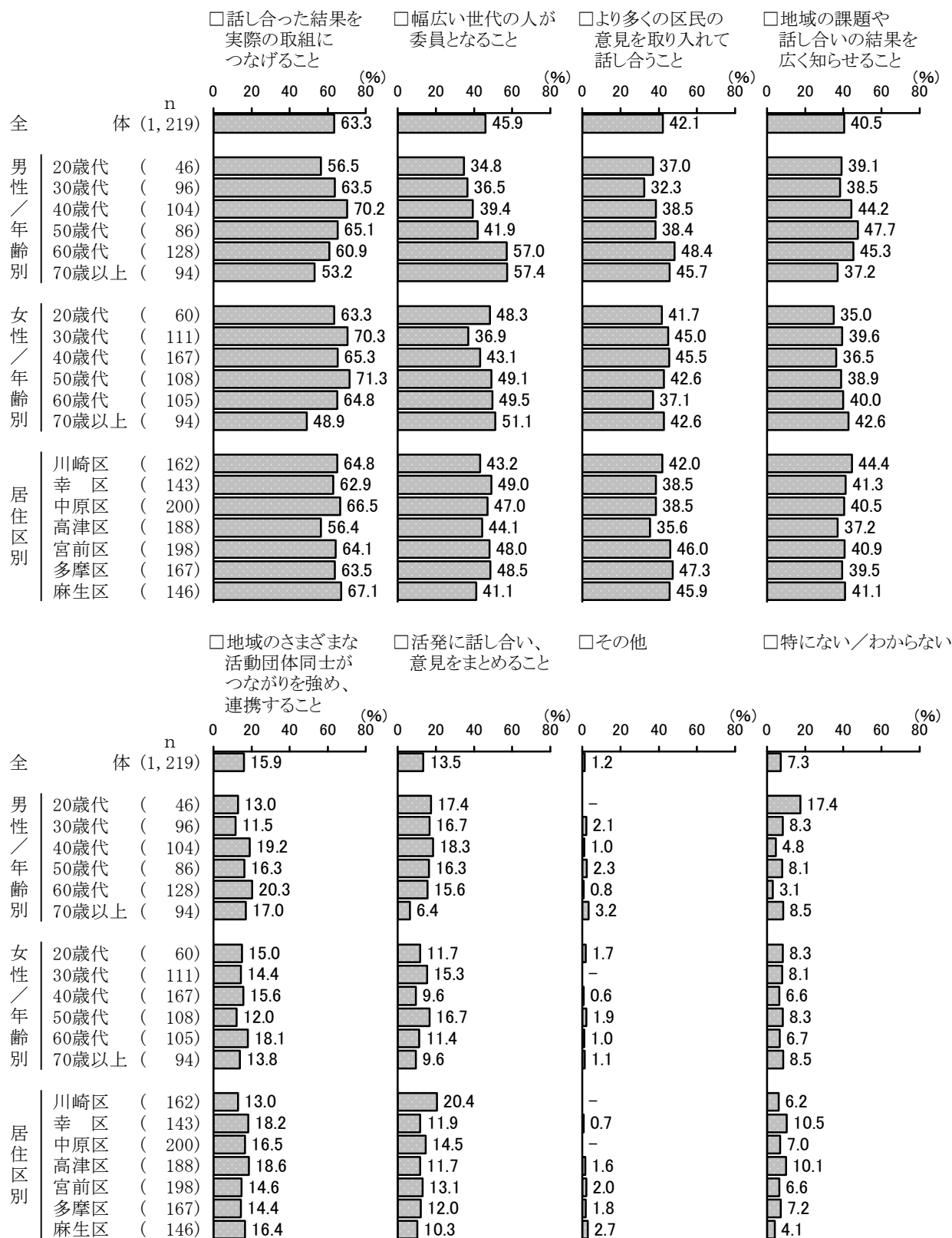
問18 あなたが、区民会議に対して期待することは何ですか。(あてはまるもの3つまでに○)

図表3-7 区民会議に期待していること



区民会議に期待していることは、「話し合った結果を実際の実組につなげること」(63.3%)が最も多く、次いで「幅広い世代の人が委員となること」(45.9%)、「より多くの区民の意見を取り入れて話し合うこと」(42.1%)、「地域の課題や話し合いの結果を広く知らせること」(40.5%)の順となっています。

図表3-8 区民会議に期待していること（性／年齢別・居住区別）



性／年齢別では、「話し合った結果を実際の取組につなげること」は、女性の50歳代（71.3％）で多く、「幅広い世代の人が委員となること」は、男性の70歳以上（57.4％）、60歳代（57.0％）の順で多くなっています。

居住区別では、「幅広い世代の人が委員となること」は、幸区（49.0％）で多くなっています。

(第1回アンケート)

3-5 区民会議への参加意向

◎＜参加したい＞が29.2%

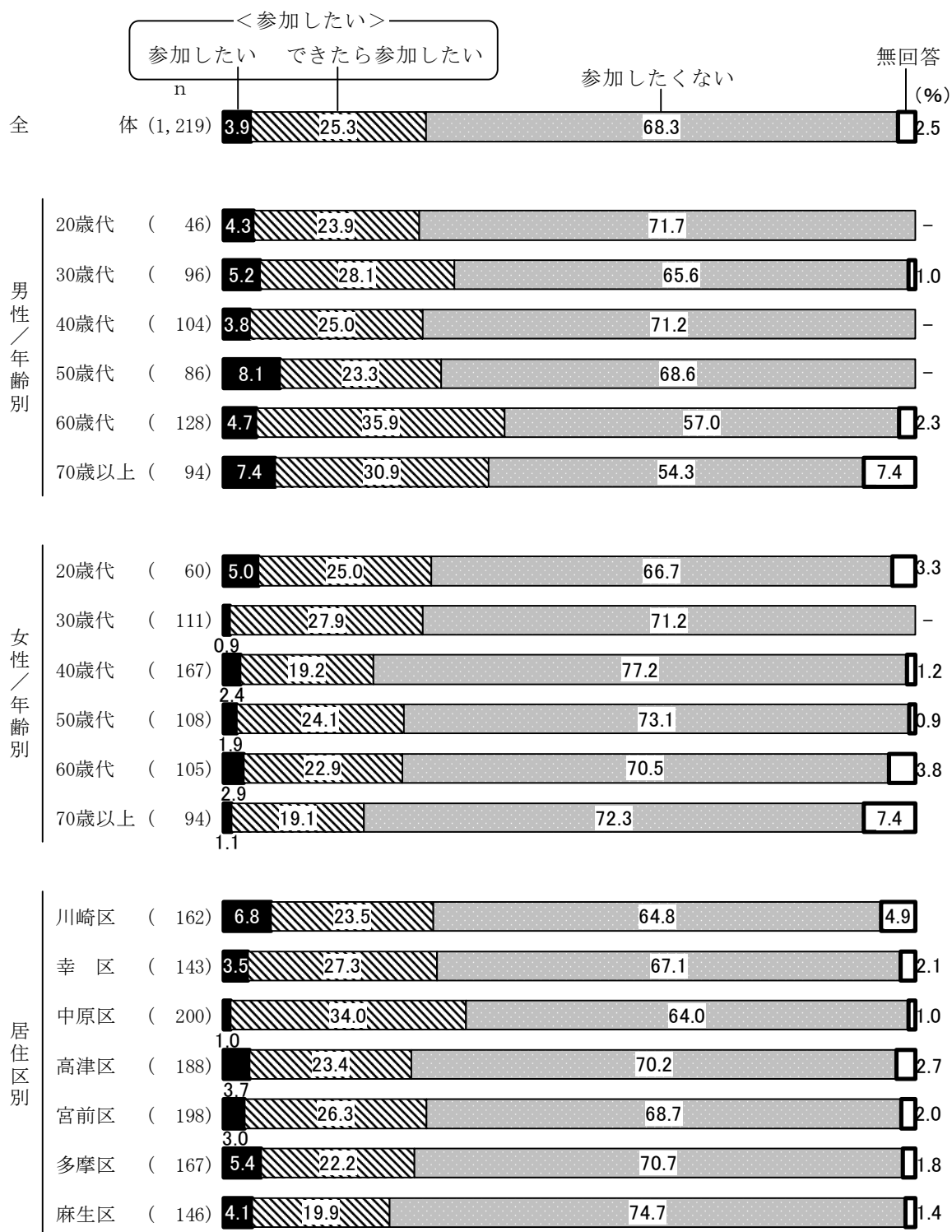
問19 あなたは、区民会議の活動に参加したいですか。(○は1つだけ)

図表3-9 区民会議への参加意向



区民会議への参加意向は、「参加したい」(3.9%)と「できれば参加したい」(25.3%)を合わせた＜参加したい＞が29.2%となっています。一方「参加したくない」は68.3%となっています。

図表3-10 区民会議への参加意向（性／年齢別・居住区別）

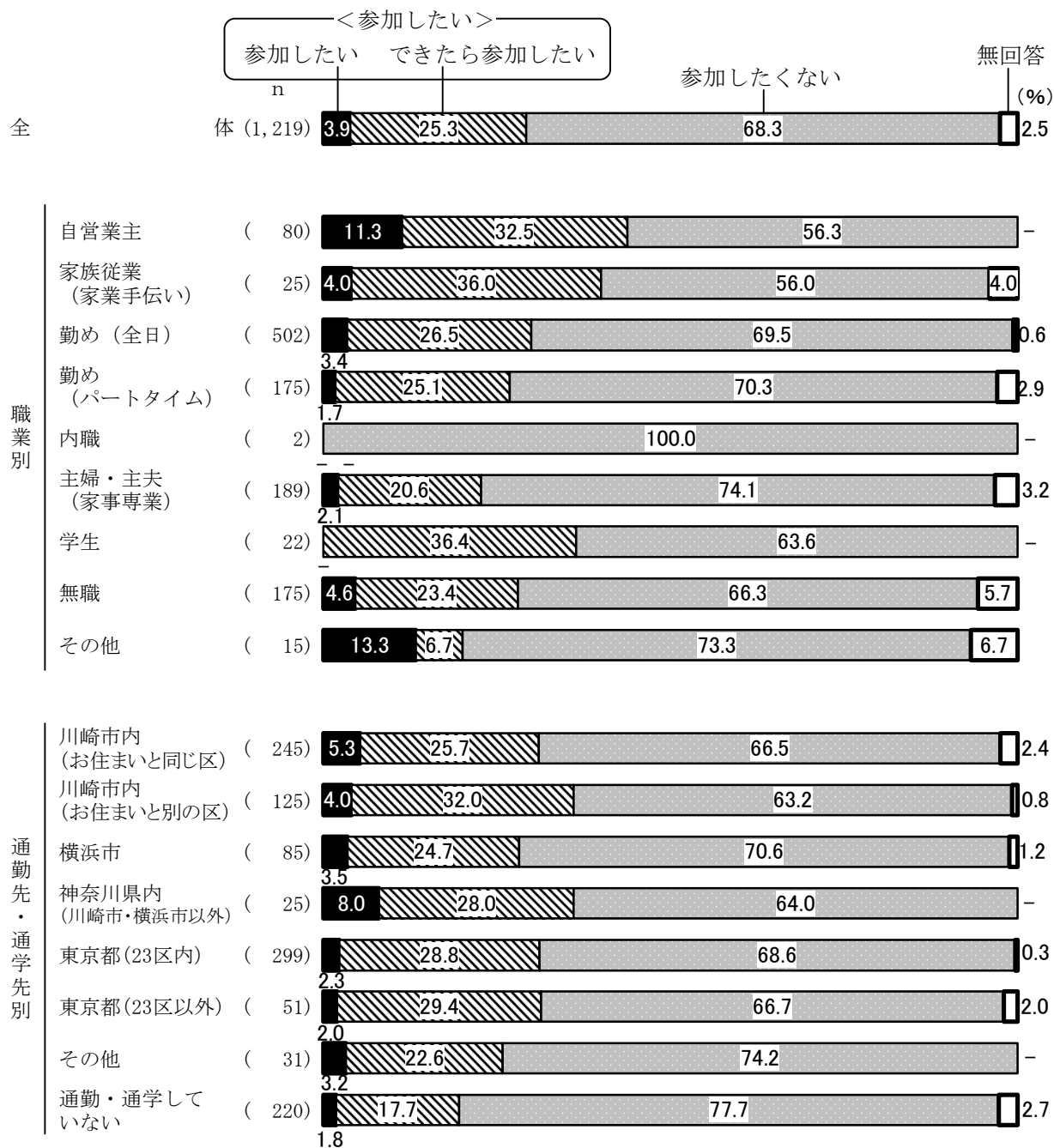


性／年齢別では、<参加したい>は、男性の60歳代（40.6%）、70歳以上（38.3%）の順で多くなっています。一方「参加したくない」は、女性の40歳代（77.2%）で多くなっています。

居住区別では、<参加したい>は、中原区（35.0%）で多くなっています。一方「参加したくない」は、麻生区（74.7%）で多くなっています。

(第1回アンケート)

図表3-11 区民会議への参加意向（職業別、通勤先・通学先別）



職業別では、<参加したい>は、自営業主（43.8%）が最も多く、次いで家族従業（家業手伝い）（40.0%）、学生（36.4%）の順となっています。

通勤先・通学先別では、<参加したい>は、川崎市内（お住まいと別の区）と神奈川県内（川崎市・横浜市以外）（ともに36.0%）で多くなっています。

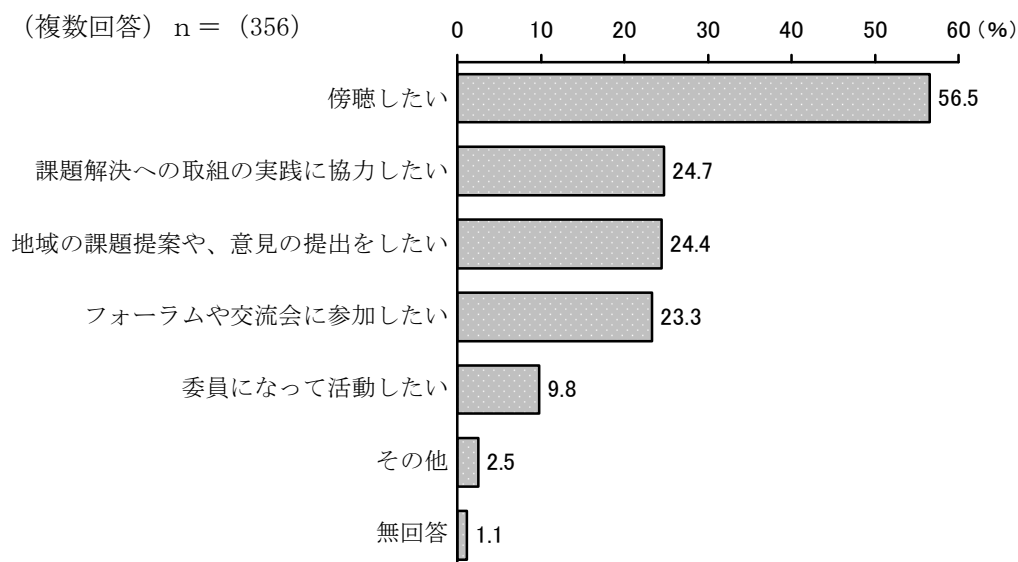
3-6 区民会議への参加方法

◎「傍聴したい」が56.5%

「問19で、『参加したい』または『できたら参加したい』と回答した方にうかがいます。」

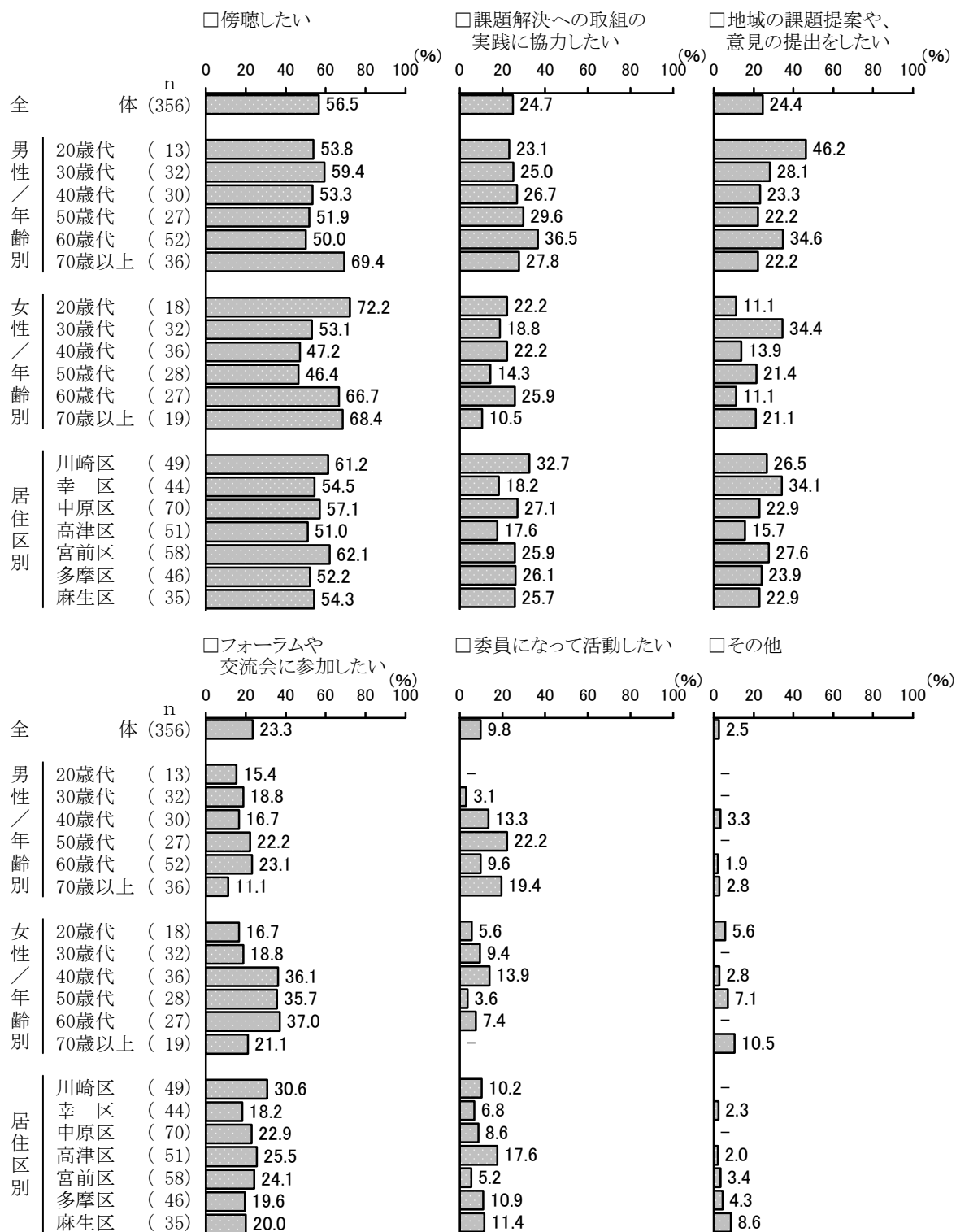
問19-1 あなたは、区民会議についてどのような参加をしたいと思いますか。(〇は2つまで)

図表 3-12 区民会議への参加方法



区民会議への参加方法は、「傍聴したい」(56.5%)が最も多く、次いで「課題解決への取組の実践に協力したい」(24.7%)、「地域の課題提案や、意見の提出をしたい」(24.4%)、「フォーラムや交流会に参加したい」(23.3%)の順となっています。

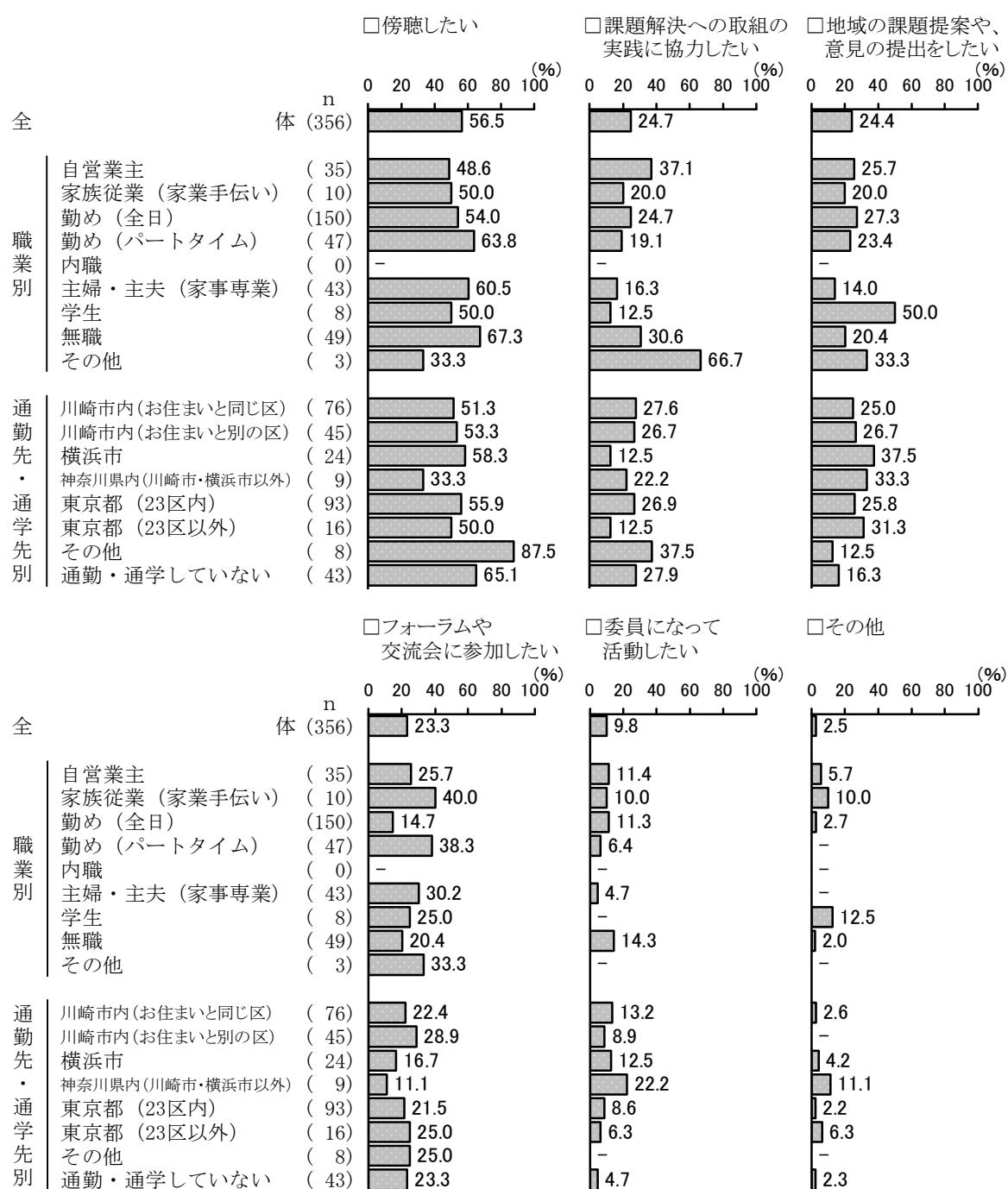
図表3-13 区民会議への参加方法（性／年齢別・居住区別）



性／年齢別では、「傍聴したい」は、女性の20歳代（72.2%）で多くなっています。「フォーラムや交流会に参加したい」は、女性の40歳代から60歳代で多くなっています。

居住区別では、「地域の課題提案や、意見の提出をしたい」は、幸区（34.1%）で多くなっています。

図表3-14 区民会議への参加方法（職業別・通勤先・通学先別）



職業別では、「傍聴したい」は、無職（67.3%）で多くなっています。「課題解決への取組の実践に協力したい」は、自営業主（37.1%）で多くなっています。

通勤先・通学先別では、「傍聴したい」は、神奈川県内（川崎市・横浜市以外）以外のすべての項目で5割以上となっています。

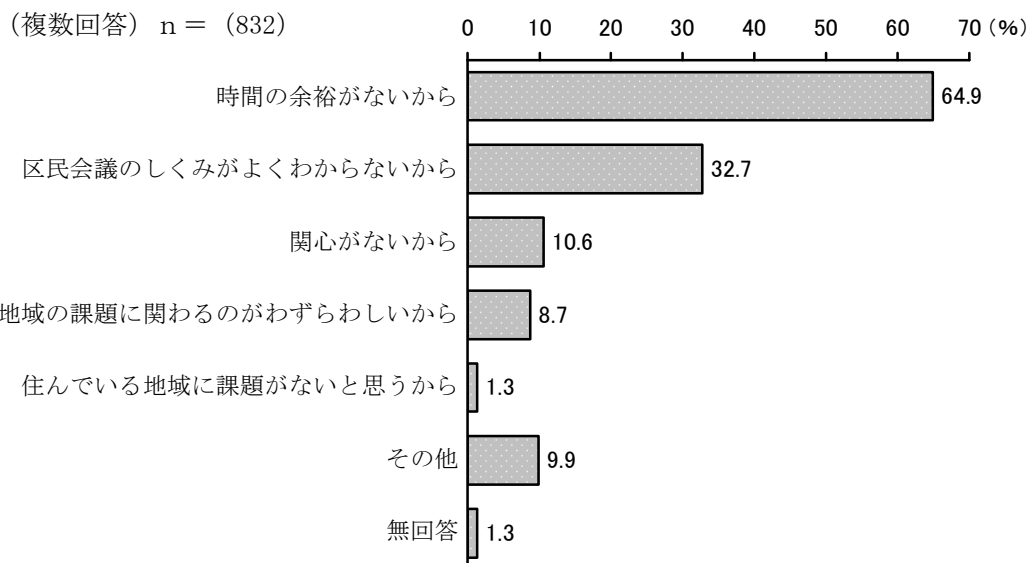
3-7 区民会議に参加したくない理由

◎「時間の余裕がないから」が64.9%

「問19で、『参加したくない』と回答した方にうかがいます。」

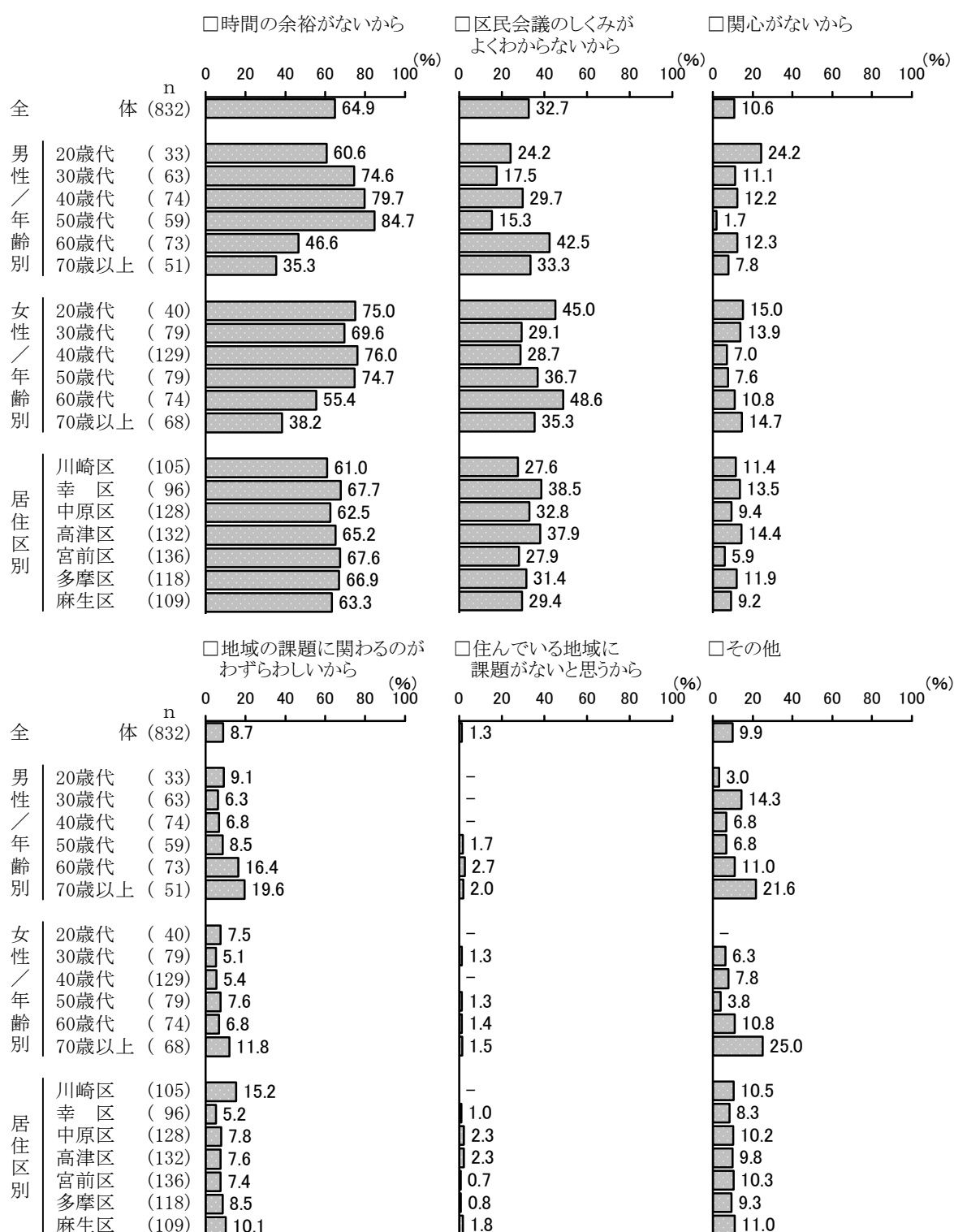
問19-2 あなたが、区民会議に参加したくないのはどのような理由からですか。(〇は2つまで)

図表3-15 区民会議に参加したくない理由



区民会議に参加したくない理由は、「時間の余裕がないから」(64.9%)が最も多く、次いで「区民会議のしくみがよくわからないから」(32.7%)、「関心がないから」(10.6%)、「地域の課題に関わるのがわずらわしいから」(8.7%)の順となっています。

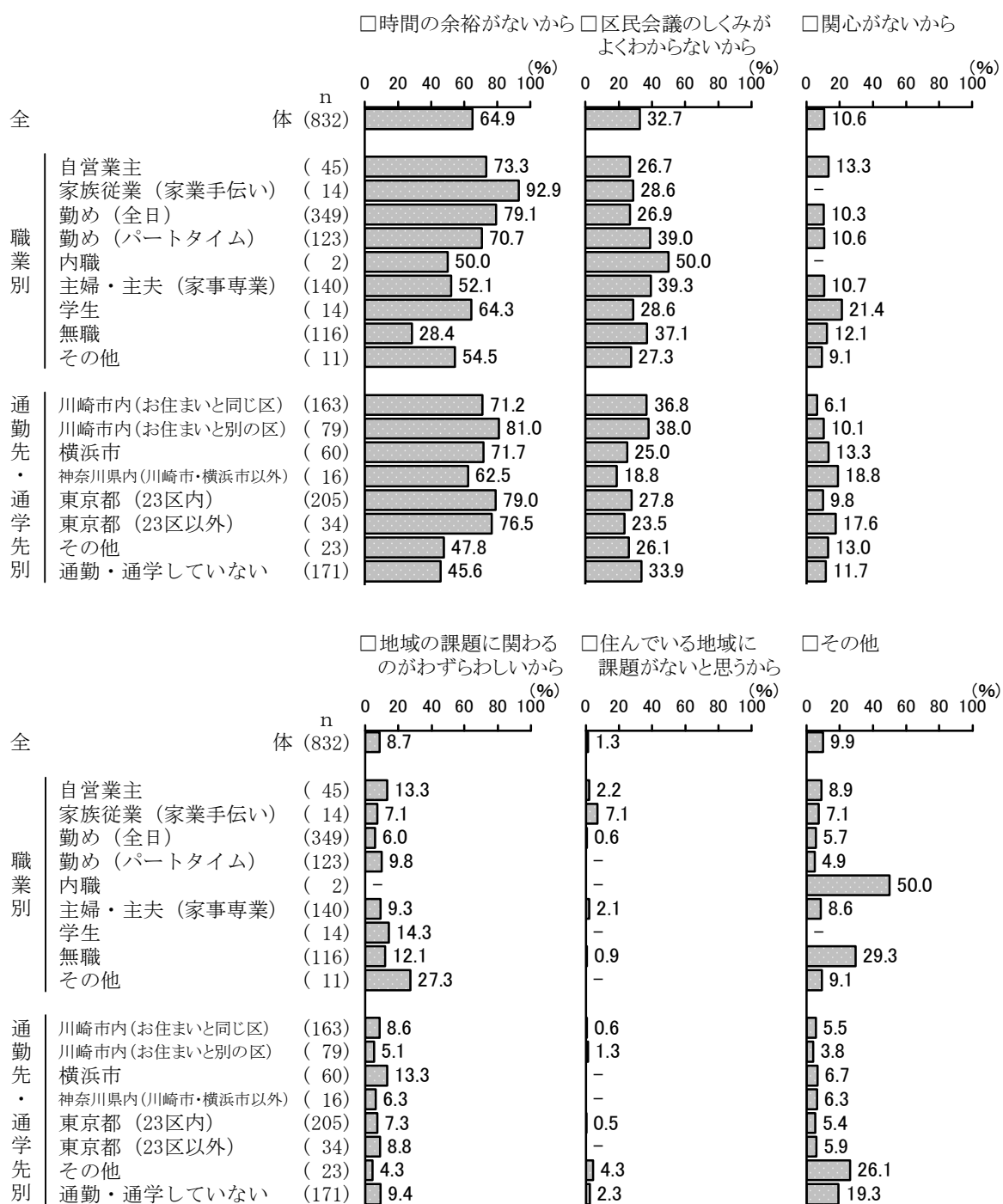
図表3-16 区民会議に参加したくない理由（性／年齢別・居住区別）



性／年齢別では、「時間の余裕がないから」は、男性の50歳代（84.7%）で多くなっています。「区民会議のしくみがよくわからないから」は、女性の60歳代（48.6%）で多く、「関心がないから」は、男性の20歳代（24.2%）で多くなっています。

居住区別では、「区民会議のしくみがよくわからないから」は、幸区（38.5%）、高津区（37.9%）で多くなっています。

図表3-17 区民会議に参加したくない理由（職業別、通勤先・通学先別）



職業別では、「時間の余裕がないから」は、無職以外のすべての項目で5割以上となっています。

通勤先・通学先別では、「時間の余裕がないから」は、川崎市内（お住まいと別の区）（81.0%）で多くなっています。「区民会議のしくみがよくわからないから」は、川崎市内（お住まいと別の区）（38.0%）、川崎市内（お住まいと同じ区）（36.8%）の順で多くなっています。